

バサースト 2023 世界クロスカントリー選手権大会日本代表選手選考要項

1. 編成方針

国内トップレベルの競技力を有する競技者、又は今後日本の陸上長距離界を担うことを期待される競技者で編成する。

2. 開催地

バサースト（オーストラリア）

3. 開催期間

2023年2月18日（土）

4. 選考競技会

（1）シニア

エディオンディスタンスチャレンジ（男女10000m）

実施日：2022年12月10日（土）西京極陸上競技場

（2）U20

第10回京都陸協記録会 特別選考レース（男女5000m）

実施日：2022年12月4日（日）西京極陸上競技場

5. 種目及びエントリー枠

（1）種目

1）シニア

男子10km / 女子10km

2）U20

男子8km / 女子6km

3）男女混合8kmリレー

（2）エントリー数

1）シニア男子10km・シニア女子10km

各レース最大8名エントリー可能。ただし、出場は6名（団体戦は上位4名の得点）

2）U20男子8km・U20女子6km

各レース最大8名エントリー可能。ただし、出場は6名（団体戦は上位4名の得点）

3）男女混合8kmリレー

男子2名、女子2名から構成される。一人2kmで走順は問わない。

6. 選考基準

下記の数字の若い順に優先する。

<シニア種目（男子・女子）>

- (1) オレゴン 2022 世界陸上競技選手権大会における、男女 5000m、男女 10000m、男女 3000m S C の日本人での記録最上位の競技者。
- (2) 選考競技会（男女 10000m）の結果で 8 位以内の競技者から本大会の編成方針に相応しい競技者。
- (3) 強化対象競技者より選考方針に基づき強化委員会が推薦する競技者。

<U20 種目（男子・女子）>

- (1) 選考競技会 6 位以内の競技者から代表選手を選考する。
- (2) 選考競技会 6 位以内の競技者が出場を辞退した場合は、各種目 6 名を派遣するために、7 位以下の競技者から本大会の編成方針を踏まえて選考する。

7. 選考方法

選考基準に則り全ての選考競技会終了後に、強化委員会にて選考原案を作成し、専務理事が承認する。

8. 補足

- (1) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数は 大会主催者が定める エントリー数の上限の枠を保証するものではない。
- (2) 代表選手は本連盟または大会主催団体が定める義務及びその他必要事項を遵守するものとする。
- (3) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 前記（2）を遵守しない場合
- (4) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更に伴い、選考競技会、選考基準及び選考方法について、専務理事の決定により、変更することができる。

以上